

「第9期米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の進捗状況について(令和6年度)

本市では、社会の変化に対応しながらも、地域包括ケアシステムの出発点である、人生の最期まで、個人として尊重され、“自分らしく”暮らしていくことのできる地域づくりを推進するため、「高齢者が住み慣れた地域で支え合い、生きがいを持ち、自分らしく暮らせるまちづくり」を第9期の基本理念とし、4つの基本目標と12の施策の柱に基づき、具体的な目標や施策を展開しています。

施策の体系



<基本情報>

○第1号被保険者数

| | 令和6年度 | | 【参考】令和5年度実績値 |
|-------------|--------|--------|--------------|
| | 計画値 | 実績値 | |
| 第1号被保険者数(人) | 42,952 | 42,735 | 42,811 |

○要介護（要支援）認定者数

| | 令和6年度 | | 【参考】令和5年度実績値 |
|-----------------|-------|-------|--------------|
| | 計画値 | 実績値 | |
| 認定者総数(人) | 9,160 | 9,050 | 9,106 |
| うち第1号被保険者数 | 9,029 | 8,916 | 8,976 |
| 要支援1 | 1,159 | 1,136 | 1,244 |
| 要支援2 | 1,835 | 1,875 | 1,856 |
| 要介護1 | 1,467 | 1,434 | 1,472 |
| 要介護2 | 1,517 | 1,540 | 1,510 |
| 要介護3 | 1,136 | 1,143 | 1,121 |
| 要介護4 | 1,079 | 1,046 | 999 |
| 要介護5 | 836 | 742 | 774 |
| 第1号被保険者保険料認定(%) | 21.0% | 20.9% | 21.0% |

1 社会参加・健康増進の推進

(1) 社会参加機会の確保

市内3箇所を設置している老人福祉センターにおいて、高齢者の団体・サークル活動、交流の場の提供を行いました。

このほか、高齢者の居場所づくりに資する取組として、老人クラブへの活動費用助成や、米子市社協によるサロン活動の支援を行い、高齢者の孤立化の解消や社会参加の促進を図ったほか、介護保険施設や公民館等の活動を支援するボランティアの拡充を図りました。

(2) 疾病予防・健康づくりの推進

健康教室や健康講座を行い、健康づくりや疾病予防に関する知識の普及、啓発を行いました。また、地域で相談がしやすいよう、各公民館等で月に1回「保健師の出張なんでも健康相談」を行いました。

健康増進普及月間には市内商業施設等でキャンペーンを実施し、地域の健康づくり組織や関係機関と連携して、幅広い世代に向けがん検診・各種健康診断の受診勧奨や生活習慣病予防に関する情報提供を行いました。

また、各地区において、管理栄養士による食生活の重要性を伝える講話や歯科衛生士による口腔機能向上の講座を開催するなど、周知啓発に努めました。

(3) 保健事業と介護予防の一体的実施

ポピュレーションアプローチ（通いの場での積極的関与）では、各公民館、サロン等で、フレイル予防についての健康教育を実施しました。また、国保データベース等の情報を分析し地域ごとの健康課題の把握を行いました。

ハイリスクアプローチ（個別的支援）では、低栄養予防、生活習慣病重症化予防、口腔機能低下予防、健康不明者等に該当した高齢者の家庭を地区担当保健師が、管理栄養士や地域包括支援センター職員等と訪問し、個別支援を行いました。

(4) ボランティア活動の推進

介護現場及びフレイル予防（介護予防）の場におけるボランティア活動に対してボランティアポイントを活用し、高齢者の生きがいづくり、介護予防に繋るとともに、地域の支え合い・助け合いを推進しました。

| 主な実績 |
|--|
| ○老人クラブへの助成 いきいき高齢者クラブ活動支援補助金:2,056千円 クラブ数:56件 |
| ○シルバー人材センターの活動の支援 シルバー人材センター運営費補助金 13,133 千円 |
| ○高齢者福祉に係るボランティア活動の推進 ボランティア登録者数 延べ120人 |
| ○疾病予防の推進・フレイル予防のための食育推進・ポピュレーションアプローチ(通いの場等への積極的関与)の取組 ・健康教育実施回数:400回 ・なんでも健康相談実施回数 360回(延べ1,643人) ・健康増進キャンペーン実施 3箇所(延べ663人) ・骨量測定会実施回数 11回(162人) ・食に関する講話実施回数 3回(237人) ・フレイル予防教室実施回数 運動30回(341人) 栄養23回(153人) 口腔25回(351人) |
| ○ハイリスクアプローチ(個別的支援)の取組 訪問対象者数:低栄養予防:24人 生活習慣病重症化予防:17人 口腔機能低下予防:107人 健康不明者:80人 |

2 フレイル予防の推進

(1) フレイル予防の普及啓発

地区担当保健師や公民館、地域包括支援センターと連携しながら、フレイル予防教室等を全公民館で開催しました。また、公民館祭や民間事業者との共同イベントにフレイル度チェックブースを設置するなど、フレイル予防の啓発に努めました。

このほか、ホームページや広報よなご、ラジオ番組、SNS 等、様々なメディアを活用して積極的な情報発信を行いました。

(2) フレイル該当者等の早期把握

フレイル予防のきっかけとして、まずご自身の体の状態を知ることが重要であることから、65 歳以上の市民（要支援、要介護認定者を除く）にフレイル度チェックの案内を発送するとともに、フレイル予防アプリ、対面でのアドバイスが受けられるチェック会場（24 か所）など手軽にチェックできる環境を引き続き提供しました。

また、フレイル該当者や無回答者に対し個別訪問を行い、健康状態の聞き取りを行いながら、個々の状態に合わせたフレイル予防のアドバイスや支援を行いました。

(3) 多様なフレイル予防の実践

日常生活の中で楽しみながらフレイル予防に取り組めるよう、チェック結果に応じて「フレイル予防優待チケット」の配布や3 か月間の予防実践教室を提供しました。

また、気軽に、そしてお得にフレイル予防に取り組んでもらえるよう、市内の協賛店で提示していただくと様々な特典が受けられる「元気エンジョイパスポート」事業やフレイル予防の取組に対し、J-coin ボーナスに交換可能な「健康ポイント」をプレゼントする「よなご健康ポイント」事業を実施しました。

さらに、市内4 か所で行っている「ふらっと、運動体験！！」の実施回数を増やすとともに、その様子をオンライン中継により各公民館に配信している「リモート運動体験」は、中央隣保館や民間施設など会場を増設し、より身近に体験ができる環境を整えました。

| 主な実績 |
|--|
| ○多様なフレイル度チェック方法の提供 フレイル度チェック実施回数:12,135 回 フレイル予防アプリによるチェック実施割合:24.7% |
| ○フレイル予防実践教室の実施 フレイル予防実践教室参加者:213人 |
| ○リモート運動体験の実施 リモート運動体験参加延べ人数:5,595 人 |

3 多職種連携・リハビリテーション機能の強化

市内地域包括支援センターが開催する「自立支援型地域ケア会議」に、医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、社会福祉士の8つの専門職が参画することにより、高齢者のQOL 向上に向けた生活課題の解決や自立支援の促進及び自立に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識・技術の習得や、高齢者を取り巻く環境へのアプローチも含めた、多角的なアプローチを実施しました。

| 主な実績 |
|--|
| <p>○自立支援型地域ケア会議の活用 「自立支援型地域ケア会議」への専門職(8職種)の参加回数 延べ 101 回</p> <p>○鳥取県リハビリテーション専門職連絡協議会等との連携 地域リハビリテーション活動支援事業での専門職依頼回数 11 回</p> |

4 権利擁護支援の推進

(1) 成年後見制度の利用支援に関する取組

総合相談支援センター「えしこに」を成年後見制度の中核機関と位置づけ、成年後見制度に係る相談を受付するとともに、申立てを行う親族がいない等の理由で成年後見制度の利用が困難な方については、必要に応じて市長申立てを行いました。

また、ご自身の財産から成年後見人等への報酬を支払うことが難しい方については、成年後見制度利用支援事業による報酬の助成を行いました。

(2) 高齢者虐待の防止

高齢者虐待を防止するために、地域包括支援センターと連携して高齢者や養護者に対する相談、指導、助言を行いました。また、虐待の通報を受けた際には、「高齢者に対する虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき関係機関と連携し、高齢者の迅速かつ適切な保護及び養護者に対する支援を行いました。

(3) ひとり暮らしの高齢者の身元保証等について

長寿社会課、福祉政策課、福祉課で構成される庁内検討会を新たに設置するとともに、地域包括支援センターや急性期四病院、西部後見サポートセンターうえるかむ等と関係機関とのヒアリングや意見交換等を通じた現状の課題の整理や先進地の視察等を行い、課題解決に向けた今後の取組について検討を行いました。

| 主な実績 |
|---|
| <p>○適切な成年後見制度の審判申立ての実施 令和 6 年度 高齢者に係る市長申立て件数 9件</p> <p>○成年後見制度利用支援事業の推進 令和 6 年度 高齢者に係る成年後見人等への報酬助成件数 12 件 延べ 2,475 千円</p> <p>○高齢者虐待防止対策の推進 <対応件数> 7 件</p> <p>○身寄りのない高齢者の支援に関する庁内検討会の設置 ・検討会の開催 全4回 ・関係機関(地域包括支援センター、急性期四病院、西部後見サポートセンターうえるかむ等)との意見交換等の実施 ・先進地視察(神奈川県大和市)</p> <p>○「身元保証人等に関する実態把握のためのアンケート調査」の実施 【令和6年度新規】 身元保証人等に関する現状・課題の把握により今後の対策等について検討するため、市内施設系サービス事業者に対して身元保証人等に求める主な役割や身元保証人等になるべき人がどうしてもいない場合の対応状況、今後考えられる対応策・解決策に関するアンケート調査を実施。 <調査期間> 令和7年2月7日～令和7年2月 20 日 <回答件数> 送付88件・回答41件(回答率47%)</p> |

5 サービス・生活支援の充実

(1) 総合事業の普及・充実化

高齢者自身が担い手となり、要支援の方等を含む地域の高齢者の健康づくりの体操や参加者同

士の交流、趣味活動などを行う活動「通所型サービスB」の普及に努めるとともに、短期集中予防サービスや住民ボランティア等が主体となって運営する通いの場の提供等の現状の課題の整理や今後の充実・強化策について検討を行いました。

(2) 見守り支援の充実

独居高齢者への地域包括支援センターによる訪問や民生委員等による見守りを行うとともに、中山間集落見守り活動に関する協定書に基づき、事業所からの通報を受けた際には、警察や消防等の関係機関と連携し安否確認や緊急対応を行いました。

(3) ごみ出し支援

長寿社会課、障がい者支援課、クリーン推進課で構成される庁内検討会を設置し、「簡易版ごみ分別ガイド」の作成や福祉事業者ごみ出し拠点整備事業（実証事業）の実施など、高齢者等のごみ出しをすることが困難になる理由・要因を踏まえた多角的な支援策を実施しました。

| 主な実績 | |
|---|---------------------------|
| ○訪問型・通所型サービス | |
| ・訪問型サービス | <設置数>35箇所 <延べ利用回数>43,665回 |
| ・通所型サービス | <設置数>48箇所 <延べ利用回数>77,526回 |
| ・通所型サービスC | <設置数>6箇所 <延べ利用回数>138回 |
| ・通所型サービスB | <設置数>2箇所 <延べ利用回数>247回 |
| ○在宅生活を支援する各種サービス | |
| ・軽度生活援助事業 | <利用実績>456件 利用者数 106人 |
| ・家族介護用品助成事業 | <利用実績>77件 |
| ・緊急通報装置助成事業 | <利用実績>18件 |
| ・はり・灸・マッサージ施術費助成事業 | <利用実績>延べ133件 |
| ・高齢者等住宅改良費助成事業 | <利用実績>3件 助成額 985,000円 |
| ○「簡易版ごみ分別ガイド」及びごみ・資源物分別アプリ「さんあ〜る」の周知強化 | |
| A3版簡易ごみ分別ガイドを作成し、市役所各窓口に配架するとともに、市内福祉事業者に希望する利用者への配布依頼を実施。ごみ資源物分別アプリ「さんあ〜る」についてスマホ講座やイベント等において紹介。 | |
| ○福祉事業者ごみ出し拠点整備事業(実証事業)の実施 【令和6年度新規】 | |
| 市に対して事前登録のあった福祉事業者が24時間利用することのできるごみステーションを市内2箇所(米子市福祉保健総合センター及び米子市中心身障害者福祉センター)に設置。 | |
| <実施期間>令和6年6月から令和7年3月 | |
| <利用実績>10事業所 | |
| ○高齢者・障がい者を対象とした「ごみ出しについてのアンケート調査」の実施 【令和6年度新規】 | |
| 高齢者や障がい者のうちごみ出しが困難な者に対して、現在のごみ出しの状況、ごみ出しが困難になった際の希望する支援者、ごみ出しの支援を受けている理由等を尋ねるアンケート調査を実施。 | |
| <調査期間>令和6年7月1日～令和6年7月31日 | |
| <回答件数>送付2,354件・回答795件(回答率34%) | |

6 認知症施策の充実

(1) 本人・家族が参画する施策づくりの推進

米子市の認知症施策を考える会（オレンジの会）の委員として、認知症の本人と家族を委嘱し、認知症施策についての検討を一緒に行いました。また、認知症の本人同士が語り合う本人交流会を市主催で開催するなど、認知症の本人や家族が集う様々な場面をとらえ、積極的に当事者と意見を交わしました。

(2) 認知症についての新しい考え方の理解と普及

市民を対象とした認知症サポーター養成講座や認知症サポーターステップアップ講座の開催、

9月の認知症月間における関係機関と連携した啓発イベントの実施などにより、認知症になっても自分らしく生きることができるという「新しい認知症観」の普及に努めました。

(3) 認知症バリアフリーの推進

認知症サポーターを中心に認知症の本人やその家族の生活面での支援等を行う「チームオレンジ」を普及するため、市内のチームオレンジを登録する「米子市チームオレンジ登録事業」を開始しました。また、民間事業者の方が街中や店舗等で困っている認知症の人を見かけた際に、早期に支援機関へお繋ぎいただくための「認知症に関する相談窓口一覧」を作成しました。

(4) 見守り支援

これまで自治会をはじめとした地域組織と協力して取り組んできた「認知症行方不明者の捜索模擬訓練」について、行方不明時の捜索模擬訓練だけでなく、認知症の人が外出した際に道に迷った場合や、買い物でサポートが必要になった場合の声かけや見守りの要素を追加するなど、内容を充実強化し、「認知症SOS地域ネットワーク模擬訓練」として実施しました。

| 主な実績 |
|--|
| <p>○認知症サポーター養成講座の実施 市主催による講座の開催や、地域や企業からの希望に応じた講師派遣を実施。 ＜開催回数＞38回 ＜延べ受講者数＞24,149人</p> <p>○認知症サポーターステップアップ講座の実施【令和6年度新規】 市主催による講座を開催。 ＜開催回数＞2回 ＜延べ受講者数＞31人</p> <p>○啓発・交流イベントの開催 9月の認知症月間にあわせ、認知症の人と家族の会鳥取県支部と共催した「認知症になっても安心して外出できるまちづくりフォーラム」の開催や、米子駅前米っ子合掌像、がいなロード、米子市公会堂のオレンジライトアップを実施。</p> <p>○チームオレンジ登録事業【令和6年度新規】 市内のチームオレンジを登録する「米子市チームオレンジ登録事業」を開始 ＜登録数＞1箇所</p> <p>○「認知症に関する相談窓口一覧」の作成【令和6年度新規】 街中やお店の中などで、困っている認知症の方を見かけた際、早期に適切な支援機関へお繋ぎいただくための、民間事業者（商業施設や金融機関、公共交通機関等）を対象とした「認知症に関する相談窓口一覧」を作成</p> <p>○認知症地域支援推進員の配置 地域包括支援センター、ケアマネジャー等が、認知症の人及びその家族に対し円滑な支援を行うことができるように、医療・介護・地域の連携を図る認知症地域支援員を配置</p> <p>○認知症カフェや家族の集いへの支援 認知症カフェの運営や、認知症の人と暮らす家族のつどいを開催。</p> <p>○認知症高齢者等事前登録制度 認知症や障がい等により行方不明になる可能性がある方を対象に事前登録し、米子警察署との情報共有を実施。 ＜登録者数＞402件（総件数）</p> <p>○認知症見守りGPS機器購入費等補助金 認知症等により行方不明になる可能性のある方を対象に、GPS機器の購入又はレンタルに係る初期費用の一部助成を実施。 ＜交付件数＞6件</p> <p>○認知症見守りシール交付事業 認知症等により行方不明になる可能性のある方を対象に、早期発見等に役立つ二次元コード付きの見守りシールの無償交付を実施。＜交付件数＞29件</p> <p>○認知症SOS 地域ネットワーク模擬訓練の実施 地域の協力を得ながら、認知症の人が行方不明になった際の住民による捜索や発見した際に声かけを行う訓練を実施。 ＜実施回数＞2回</p> <p>○認知症初期集中支援チームの配置 認知症の人の介護者・支援者への支援として、必要な医療や介護の導入や家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行う認知症初期集中支援チームを各地域包括支援センターに設置し、認知症サポート医や作業療法士の協力を得ながら支援を実施。</p> |

7 入退院時連携の強化

在宅医療・介護関係者間の円滑な情報共有等を図るため、医療機関及び介護事業所の情報を集約した医療・介護連携ガイドを作成しました。また、「鳥取県西部圏域在宅医療介護連携に関する意見交換会」に参加し、鳥取県西部圏域における在宅医療介護担当者との情報交換や課題共有と解決策の検討等を行うことにより、関係機関との連携促進を図りました。

| 主な実績 |
|---|
| ○医療・介護連携ガイドの作成及び配布 鳥取県西部圏域における医療機関及び介護事業所の情報を集約した Web ページ「医療介護連携ガイド」の公開及び冊子版「医療介護連携ガイド」を配布 ＜掲載事業所数＞538事業所 |
| ○「鳥取県西部圏域在宅医療介護連携に関する意見交換会」への参加 鳥取県西部圏域における在宅医療介護担当者との情報交換や課題共有と解決策の検討等を行う「鳥取県西部圏域在宅医療介護連携に関する意見交換会」への参加 計8回 |

8 在宅における療養・看取り体制の整備

人生の最終段階まで自分らしい暮らしを継続できるよう、自らの日常生活に関わる情報及び緊急時の医療ケアに関する意思等について考えるきっかけや、それらの意志等を身近な人と共有するためのツールとして米子市エンディングノート「私の人生手帳」を作成・配布しました。また、医療と介護関係者で本人の意思を共有し、円滑に連携できる体制の構築について検討を行いました。

| 主な実績 |
|---|
| ○米子市エンディングノート「私の人生手帳」の作成及び配布 ＜配布数＞3,000 部 ＜主な配布先＞各種行政窓口、図書館、米子市老人福祉センター、各公民館、各地域包括支援センター、米子市フレイル対策拠点、西部後見サポートセンターうえるかむ、米子市社会福祉協議会、鳥取地方務局米子支局及び米子公証役場、鳥取大学医学部附属病院等 |

9 持続可能なサービス提供体制の整備

（1）介護現場の生産性向上の推進

介護現場の介護記録・情報共有・報酬請求等の業務の効率化を図ることを目的として、厚生労働省ならびに国民健康保険中央会の提供するケアプランデータ連携システムの普及促進を図るため、ケアプランデータ連携システムの導入・活用状況の調査や、地域包括支援センターと連携した圏域別のアプローチ、ケアプランデータ連携システム普及啓発研修会の開催、鳥取県と連携したライセンス料補助申請の支援等を行いました。

また、認定調査事務の効率化を目的として、タブレット機器及び認定調査システムの導入を行いました。ならびに、介護現場の業務時間の省略化を目的として、要介護（支援）認定申請状況や認定情報の取得をクラウド上で行うことのできる要介護認定進捗確認システムの導入を行いました。

（2）ケアマネジメントの質の向上

居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターを対象とした介護給付適正化専門員によるケアプラン点検を計画的に実施し、自立支援の観点からケアプランを点検するとともに、適正なケアプランが作成できるよう指導・助言を行いました。

(3) 介護人材の確保・育成

鳥取県が設置する「介護人材確保対策協議会」等において、関係機関と情報共有や課題解決に向けた効果的な取組について検討を行ったほか、介護現場の負担軽減や職場環境の改善が介護人材の確保に繋るものと考え、介護現場の生産性向上の取組に積極的に取り組みました。

| 主な実績 |
|---|
| ○ケアプランデータ連携普及促進事業【令和6年度新規】 <ul style="list-style-type: none">・ケアプランデータ連携システムの導入・活用状況の調査 ＜調査期間＞令和6年 11 月5日～11 月 15 日 ＜回答件数＞配布307事業所・回答151事業所（回答率49.2%）・地域包括支援センターと連携した圏域別のアプローチの実施 上記調査結果を地域包括支援センターの圏域ごとに一覧化した上で、各センターと情報を共有し、居宅連絡会や地域ケア会議など、センターと圏域内事業所が顔を合わせる機会等を活用した、システムの周知啓発・導入に関する声かけを実施するとともに、各種情報提供を実施・鳥取県国民健康保険連合会との共催により、システム概要、導入メリット、操作方法等の説明を行う研修会を開催 |
| ○介護認定事務の効率化【令和6年度新規】 <ul style="list-style-type: none">・要介護認定調査システムの導入(令和 7 年 3 月)・要介護認定進捗確認システムの導入(令和 7 年 3 月) |

10 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた体制強化

(1) 地域包括支援センターの体制強化

増大する多様な支援ニーズに対応するための体制整備として、日常生活圏域（中学校単位）ごとの運営に向けた圏域再編に取り組みました。

令和6年7月に「義方地区」と「住吉地区」の統合により「後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センター」を設置したほか、「ふれあいの里地域包括支援センター」が担当する3つの日常生活圏域（東山・福生・福米）について、令和7年4月からの各圏域ごとの単独センター設置に向けた準備調整を行いました。

(2) 地域ケア会議の充実

多職種からの専門的な助言により、高齢者の生活行為の課題等を明らかにし、介護予防に資するケアプラン作成とそのケアプランに則したケア等の提供等を目的として開催する「自立支援型地域ケア会議」について、全ての地域包括支援センターで開催するとともに、関係団体との連携により、専門職の参加を促進する体制を整備しました。

また、地域課題の解決へ向けた新たな施策の立案・実行を行うことを目的として、介護サービス事業者、有識者、自治体職員等で構成する「米子がいなケア会議」を開催しました。

(3) 重層的支援体制整備事業の推進

総合相談支援センター「えしこに」を拠点として、複雑化・複合化した課題に対する包括的な相談・支援と、多機関協働による支援、必要に応じたアウトリーチを実施するとともに、地域のプラットフォームの形成など地域福祉活動の活性化のための事業を行いました。

また、総合相談支援体制の充実・強化に向け、令和6年度より日常生活圏域をベースとしたチーム（総合相談支援員、地域福祉活動支援員、地区担当保健師、地域活動支援員）を編成し多職種で連携した支援を行いました。

| 主な実績 |
|---|
| ○地域包括支援センターの再編整備【令和6年度新規】 <ul style="list-style-type: none">・「義方地区」と「住吉地区」の統合による「後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センター」の設置・「福生地域包括支援センター」及び「福米地域包括支援センター」の設置に係る公募型プロポーザルの実施 |

| |
|--|
| <p>○包括的な相談・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援センター「えしこに」において、複雑化・複合化する生活福祉相談について分野を問わず受け止めた。 相談受付件数 530 件 ・米子市重層的支援会議(複雑化・複合化した課題を抱える相談者を多様な支援者で支えるために、様々な支援関係者で支援の方針、役割分担や制度の狭間等の課題を話し合う会議)の開催 計 106 回 <p>○地域ケア会議(個別・推進)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議の開催 計 57 回 ・地域ケア推進会議の開催 計 66 回 <p>○自立支援型地域ケア会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <開催回数> 15 回 <参加専門職の数> 延べ 101 人 <p>○米子がいなケア会議の開催【令和6年度新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターから提出された政策提言を基に、介護サービス事業者、有識者、自治体職員等で構成する「米子がいなケア会議」において今後の施策・取組等の方向性について検討。 <p>○PDCAサイクルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度第2回介護保険事業計画策定委員会において、厚生労働省が作成する「地域包括ケアシステムの構築状況を点検するために有効なツール」を用いて、これまでの取組や目指す姿(ビジョン)、今後さらに解決すべき要因について整理。 |
|--|

11 災害・感染症に対する備え

(1) 災害に対する備え

高齢者等の災害からの逃げ遅れを防ぐため、避難行動要支援者名簿整備と個別避難計画の作成支援を行う避難行動要支援者対策事業を地域振興課及び障がい者支援課と連携して実施しました。

また、介護サービス事業者の業務継続計画(BCP)の策定に向け、管内の介護サービス事業者に対し、運営指導等を活用して必要な助言や支援を行いました。

(2) 感染症に対する備え

介護サービス事業者において、感染症発生時においてもサービスを継続するための業務継続計画(BCP)の策定がなされているか、運営指導を通じて確認し必要な助言を行いました。

また、介護保険事業所の電子申請届出システムの運用準備を行い、申請等のオンライン化を推進しました。

| 主な実績 |
|--|
| <p>○避難行動要支援者対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別避難計画の作成 8地区(加茂、福生東、福生西、福米東、福米西、彦名、春日、蔵) <p>○業務継続計画(BCP)の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の指定事業所への運営指導を実施 14 事業所 <p>○感染症への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の指定事業所への運営指導を実施 14 事業所 <p>○業務のオンライン化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子申請届出システムの導入準備を行い、市の指定事業所への事前案内等を行った。(令和7年10月より運用開始予定) |

12 介護保険制度の健全かつ円滑な運営

(1) 介護給付費

介護給付費については、前年度の実績と比較して、「訪問介護」や「通所介護」などの居宅サービスは減少傾向にある一方で、「介護老人福祉施設」や「介護老人保健施設」などの施設系サービスは増加傾向にありました。

| (単位:千円) | 令和6年度 | | 【参考】 令和5年度実績値 |
|-----------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | 計画値 | 実績値 | |
| (1)居宅サービス | 5,165,960 | 4,845,951 | 4,796,940 |
| ①訪問介護 | 1,112,787 | 972,477 | 1,025,369 |
| ②訪問入浴介護 | 24,245 | 30,488 | 27,426 |
| ③訪問看護 | 399,768 | 377,759 | 373,279 |
| ④訪問リハビリテーション | 144,896 | 129,920 | 132,601 |
| ⑤居宅療養管理指導 | 108,430 | 115,535 | 104,775 |
| ⑥通所介護 | 1,144,354 | 999,124 | 1,027,542 |
| ⑦通所リハビリテーション | 585,035 | 647,665 | 636,426 |
| ⑧短期入所生活介護 | 228,779 | 230,340 | 222,912 |
| ⑨短期入所療養介護(老健) | 30,862 | 37,027 | 38,220 |
| ⑩短期入所療養介護(病院等) | 0 | 444 | 0 |
| ⑪短期入所療養介護(介護医療院) | 0 | 0 | 0 |
| ⑫福祉用具貸与 | 449,757 | 422,629 | 423,237 |
| ⑬特定福祉用具購入 | 29,566 | 16,014 | 15,562 |
| ⑭住宅改修費 | 22,208 | 17,273 | 19,418 |
| ⑮特定施設入居者生活介護 | 885,273 | 849,256 | 750,173 |
| (2)地域密着型サービス | 3,663,813 | 3,420,916 | 3,280,978 |
| ①定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 310,557 | 302,054 | 266,491 |
| ②夜間対応型訪問介護 | 0 | 0 | 0 |
| ③地域密着型通所介護 | 389,746 | 305,766 | 326,972 |
| ④認知症対応型通所介護 | 177,522 | 149,582 | 153,730 |
| ⑤小規模多機能型居宅介護 | 852,726 | 869,271 | 824,103 |
| ⑥認知症対応型共同生活介護 | 1,212,437 | 1,252,716 | 1,146,208 |
| ⑦地域密着型特定施設入居者生活介護 | 157,736 | 61,828 | 85,968 |
| ⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 278,284 | 278,751 | 271,052 |
| ⑨看護小規模多機能型居宅介護 | 284,805 | 200,948 | 206,454 |
| (3)施設サービス | 4,606,624 | 4,719,567 | 4,490,559 |
| ①介護老人福祉施設 | 1,885,757 | 1,957,874 | 1,851,494 |
| ②介護老人保健施設 | 2,155,319 | 2,289,784 | 2,209,870 |
| ③介護医療院 | 565,548 | 470,982 | 406,891 |
| ④介護療養型医療施設 | 0 | 927 | 22,304 |
| (4)居宅介護支援 | 583,091 | 552,153 | 548,938 |
| 合計 | 14,019,488 | 13,538,587 | 13,117,415 |

(2) 介護予防給付費

介護予防給付費については、前年度の実績と比較して、「訪問看護」「訪問リハビリ」「福祉用具貸与」の伸びが大きくなりました。

| (単位:千円) | 令和6年度 | | 【参考】 令和5年度実績値 |
|----------------------|---------|---------|------------------|
| | 計画値 | 実績値 | |
| (1)介護予防サービス | 447,249 | 478,595 | 452,330 |
| ①介護予防訪問入浴介護 | 0 | 34 | 44 |
| ②介護予防訪問看護 | 58,312 | 70,580 | 61,846 |
| ③介護予防訪問リハビリテーション | 50,206 | 51,473 | 47,976 |
| ④介護予防居宅療養管理指導 | 8,488 | 10,931 | 8,755 |
| ⑤介護予防通所リハビリテーション | 183,426 | 182,027 | 182,889 |
| ⑥介護予防短期入所生活介護 | 8,962 | 6,100 | 6,186 |
| ⑦介護予防短期入所療養介護(老健) | 244 | 493 | 288 |
| ⑧介護予防短期入所療養介護(病院等) | 0 | 0 | 0 |
| ⑨介護予防短期入所療養介護(介護医療院) | 0 | 0 | 0 |
| ⑩介護予防福祉用具貸与 | 96,202 | 105,759 | 96,093 |
| ⑪特定介護予防福祉用具購入費 | 7,941 | 9,088 | 8,555 |
| ⑫介護予防住宅改修 | 17,362 | 20,692 | 20,646 |
| ⑬介護予防特定施設入居者生活介護 | 16,106 | 21,418 | 19,052 |
| (2)地域密着型サービス | 45,806 | 43,649 | 39,521 |
| ①介護予防認知症対応型通所介護 | 4,721 | 1,395 | 2,177 |
| ②介護予防小規模多機能型居宅介護 | 41,085 | 40,125 | 37,344 |
| ③介護予防認知症対応型共同生活介護 | 0 | 2,129 | 0 |
| (3)介護予防支援 | 85,300 | 87,348 | 82,833 |
| 合計 | 578,355 | 609,592 | 574,684 |

| 主な実績 |
|--|
| <p>○縦覧点検・医療情報との突合の推進</p> <p>診療報酬明細書の点検による介護事業所への過誤請求等の修正依頼 <実績> 209 件 <効果額> 2,202,036 円</p> <p>○制度の普及啓発</p> <p>・市報「広報よなご」における介護保険特集号の作成・配布(年 1 回) ・介護保険パンフレット「あんしん介護保険」の作成・配布 ・広告付き無料冊子を活用した認知症ケアパス、介護保険事業所一覧表の作成・配布</p> <p>○利用者負担軽減施策の啓発</p> <p>・高額介護サービス費の勧奨・給付 <給付実績> 342,538,685 円 ・社会福祉法人減免補助金 <実施法人> 5 法人 <補助金額> 7,885,787 円</p> <p>○その他の取組</p> <p>・介護認定業務分析データにより本市の認定調査結果を全国平均と比較・分析し、全国平均とのかい離等が認められないか確認を行った。 ・認定調査員を対象とした、調査技術向上に向けた e ラーニングや、オンライン研修の受講を実施。</p> |

＜施策の目標及び評価＞

| | 施策目標 | 単位 | 令和6年度 | |
|------------------------------------|----------------------------------|----|--------|--------|
| | | | 計画値 | 実績値 |
| 1 社会参加・健康増進の推進 | 単位老人クラブ助成数 | 件 | 60 | 56 |
| | ボランティア登録者数 (※延べ人数) | 人 | 150 | 120 |
| 2 フレイル予防の推進 | フレイル度チェック実施人数 (※延べ人数) | 人 | 15,000 | 12,135 |
| | フレイル予防アプリによる チェック実施割合 | % | 20 | 24.6 |
| | フレイル予防実践教室参加者数 | 人 | 420 | 213 |
| | リモート運動体験参加者数 (※延べ人数) | 人 | 3,800 | 5,595 |
| 3 多職種連携・リハビリテーション 機能の強化 | 自立支援型地域ケア会議への各 専門職の参加回数 | 回 | 100 | 101 |
| 4 権利擁護支援の推進 | 指標なし | | | |
| 5 サービス・生活支援の充実 | 訪問型・通所型サービス延べ 利用回数(訪問型サービス) | 回 | 39,170 | 43,665 |
| | 訪問型・通所型サービス延べ 利用回数(通所型サービス) | 回 | 68,500 | 77,526 |
| | 訪問型・通所型サービス延べ 利用回数(通所型サービス C) | 回 | 120 | 138 |
| | 訪問型・通所型サービス延べ 利用回数(通所型サービス B) | 箇所 | 5 | 2 |
| 6 認知症施策の充実 | オレンジの会開催回数 | 回 | 1 | 2 |
| | 認知症サポーター養成講座 受講者数(※延べ人数) | 人 | 23,500 | 24,149 |
| | 認知症サポーターステップ アップ講座受講者数(※延べ人数) | 人 | 100 | 31 |
| | 認知症の本人が発信する機会 | 回 | 20 | 14 |
| | 地域のチームオレンジ設置数 | 箇所 | 2 | 1 |
| | 認知症 SOS 地域ネットワーク 模擬訓練の実施件数 | 件 | 2 | 2 |
| | 認知症ケアバスの配布数 | 冊 | 2,100 | 2,300 |
| | 認知症ケアバスの設置箇所数 | 箇所 | 100 | 119 |
| 7 入退院時連携の強化 | 指標なし | | | |
| 8 在宅における療養・看取り体制の整備 | もしもの時のあんしん終活 支援ノート配布数 | 冊 | 2,500 | 3,000 |
| 9 持続可能なサービス提供体制の整備 | ケアプラン点検実施割合 | % | 100% | 100% |
| | 包括的・継続的ケアマネジメント 支援業務実施件数 | 件 | 4,800 | 4,800 |
| 10 地域包括ケアシステムの深化・推進に 向けた体制強化 | 地域ケア会議開催回数 | 回 | 150 | 138 |
| | 自立支援型地域ケア会議 開催回数 | 回 | 14 | 15 |

| | | | | |
|------------------------|---------------|---|----------------------------|----------------------------|
| | 米子がいなケア会議開催回数 | 回 | 1 | 1 |
| 11 災害・感染症に対する備え | 個別避難計画作成対象地区 | — | 加茂、福生東、福生西、福米東、福米西、彦名、春日、巖 | 加茂、福生東、福生西、福米東、福米西、彦名、春日、巖 |
| 12 介護保険制度の健全かつ円滑な運営 | 指標なし | | | |